

2022年3月22日

PMI日本支部

SDGsスタートアップ研究分科会

分科会PMOリーダ 西原真仁

去る3月12日(土)、SDGsスタートアップ研究分科会主催で「SDGsスタートアップセミナー～SDGsを学んだあとのSDGs実践に向けて～」を開催しましたのでご報告いたします。

※イベントページ

<https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/4456>

1.SDGsスタートアップ研究分科会の概要

PMI日本支部は、2019年10月から内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」において「SDGsスタートアップ研究分科会」を設け、SDGsをテーマとするプロジェクトを立ち上げ・推進する方法の開発・普及を図るために活動しています。

具体的には、SDGsプロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「ベーシックコース」と、実際に事業として行っているSDGsプロジェクトを支援する「アドバンスコース」を二本立てで設け、それぞれに内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の全会員団体に門戸を広げて、活動しています。2021年度はベーシックコースが3回（10月、12月、2月）のワークショップ開催、アドバンスコースは参加団体毎の個別活動に加え、4回（7月、9月、11月、1月）の参加団体横串での情報交換会を開催しました。またそれ以外にもPMI日本フォーラム2021での発表、2021年度秋季SDGsスタートアップセミナーの開催も活動実績となります。

今回、これら活動の集大成として、「SDGsスタートアップセミナー～SDGsを学んだあとのSDGs実践に向けて～」を開催する運びとなりました。

2.「SDGsスタートアップセミナー～SDGsを学んだあとのSDGs実践に向けて～」概要

- 開催日時：2022年3月12日（土）14時00分～17時00分
- 会場：オンライン(eventos配信)
- 主催：一般社団法人PMI 日本支部
- 後援：内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」
- 開催趣旨：本分科会の2021年度アドバンスコースでの活動実績に基づき、以下の講演とアドバンスコース参加団体によるパネルディスカッションを行う。
 - 講演Ⅰ：「SDGsスタートアップ方法論」の提唱
 - 講演Ⅱ：リールスタートアップ実践者によるSDGs事業立ち上げ支援の取り組み
 - 講演Ⅲ：埋もれている地域資源（人・モノ・思い）の価値を創出する“サーキュラーエコノミー”の実践
 - 講演Ⅳ：「今・ここ・私」多様性が持続のヒント
- パネルディスカッション：2021年度アドバンスコース参加4団体代表者

○ 当日の概況：

当日は、PMI日本支部のセミナー配信システム「eventos」を通して、セミナー配信を行いました。延べ140名の方に視聴いただき、開催後1週間で約100名の方からアンケートを通じて視聴後の感想をいただくなど、引き続きSDGs事業立ち上げ推進に関するPMI日本支部の取り組みへの関心の高さを感じました。

冒頭、開会挨拶としてPMI 日本支部会長の 片江 有利からPMI日本支部の活動説明と社会的意義やSDGsとの関わりについて案内を行いました。

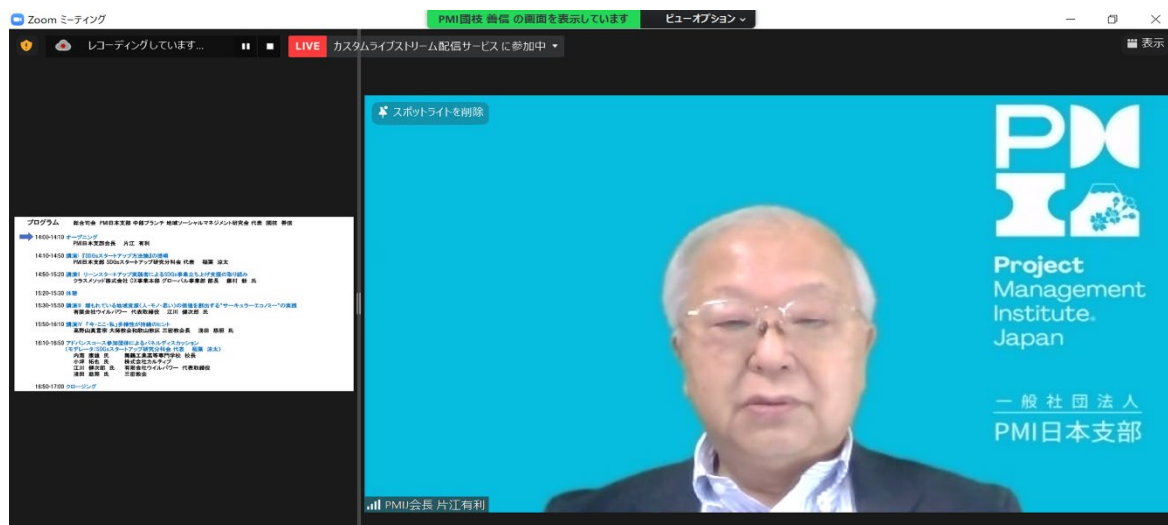


図 1 開会挨拶 片江会長 配信画像

続いて講演に移り、まず講演Ⅰで PMI 日本支部 SDGs スタートアップ研究分科会代表の 稲葉 涼太より、『SDGs スタートアップ方法論』の提唱」と題した講演を行いました。



図 2 講演Ⅰ 稲葉代表 配信画像

講演Ⅱからは、2021年度アドバンスコース実績報告です。まず講演2で、有限会社ウィルパワー様案件にPMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会側のPMとして参画された、クラスメソッド株式会社CX事業本部グローバル事業部 部長の 藤村 新氏に、『リーンスタートアップ実践者によるSDGs事業立ち上げ支援の取り組み』と題して講演いただきました。

藤村氏からは、ウィルパワー様支援プロジェクトのPMとして取り組んできたこと、支援活動を通して感じた課題（リーンスタートアップとのアプローチの違いなど）やそこから得られた学び、今後の取り組みなどについて、テンポよくお話しいただきました。



図 3 講演Ⅱ 藤村氏 配信画像

続く講演Ⅲは、講演Ⅱと同じウィルパワー様支援プロジェクトの事業者様視点での講演として、有限会社ウィル・パワー代表取締役 江川 健次郎氏に、「埋もれている地域資源（人・モノ・思い）の価値を創出する“サーキュラーエコノミー”の実践」と題して講演いただきました。

江川氏の講演は、有限会社ウィルパワーの掲げる循環社会の実現に向けた熱い想いや地元・岡山県倉敷市での取り組み内容、そしてPMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会の方法論を学んだときの感想やそれを実際に実践してみての手応え、ご自身なりの評価など多岐にわたっており、非常に力強い信頼に満ちた言葉でお話しいただいたことが特徴的でした。



図 4 講演Ⅲ ウィルパワー江川氏 配信画像

講演の最後として、講演Ⅳで三密教会様支援プロジェクトの事業者様である、高野山真言宗大師教会和歌山教区三密教会長 浅田 慈照氏に、『今・ここ・私』多様性が持続のヒント」と題して講演いただきました。

浅田氏の講演は、和歌山県橋本市において実践されている、社会に対して違和感を抱く女性群（LBTQ+）や経済的弱者の女性を対象にした戸建て空き家や空き部屋を活用する事業がテーマです。先の江川氏同様、ジェンダー平等の社会実現に向けた想いやPMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会の方法論を学んだときの感想、それを実際に実践してみてもの手応え、ご自身なりの評価などを宗教家らしい語りかけるような口調で、でもしっかりと話されている姿が印象的でした。

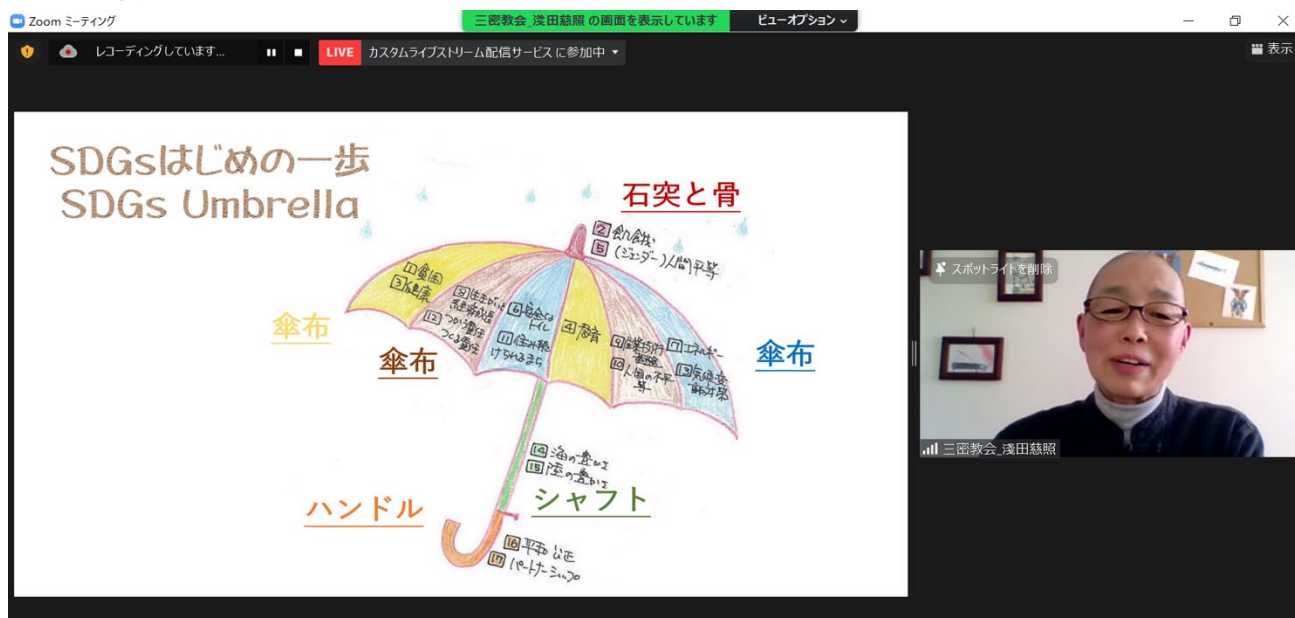


図 5 講演Ⅳ 三密教会・浅田氏 配信画像

本セミナーの最後のプログラムは、2021年度「アドバンスコース」参加4団体によるパネルディスカッション（モデレータ：分科会代表・稲葉涼太）を開催しました。先に発表された有限会社ウィルパワーの江川氏、三密教会の浅田氏に加え、本分科会発足当時の参加団体である、舞鶴工業高等専門学校校長の 内海 康雄氏、株式会社カルティブの 小坪 拓也氏にも参画いただき、「①SDGs事業の立ち上げ推進の難しいところ・コツ」、「②PMIのSDGs分科会に入ってよかったこと」の2テーマについてディスカッションしていただきました。

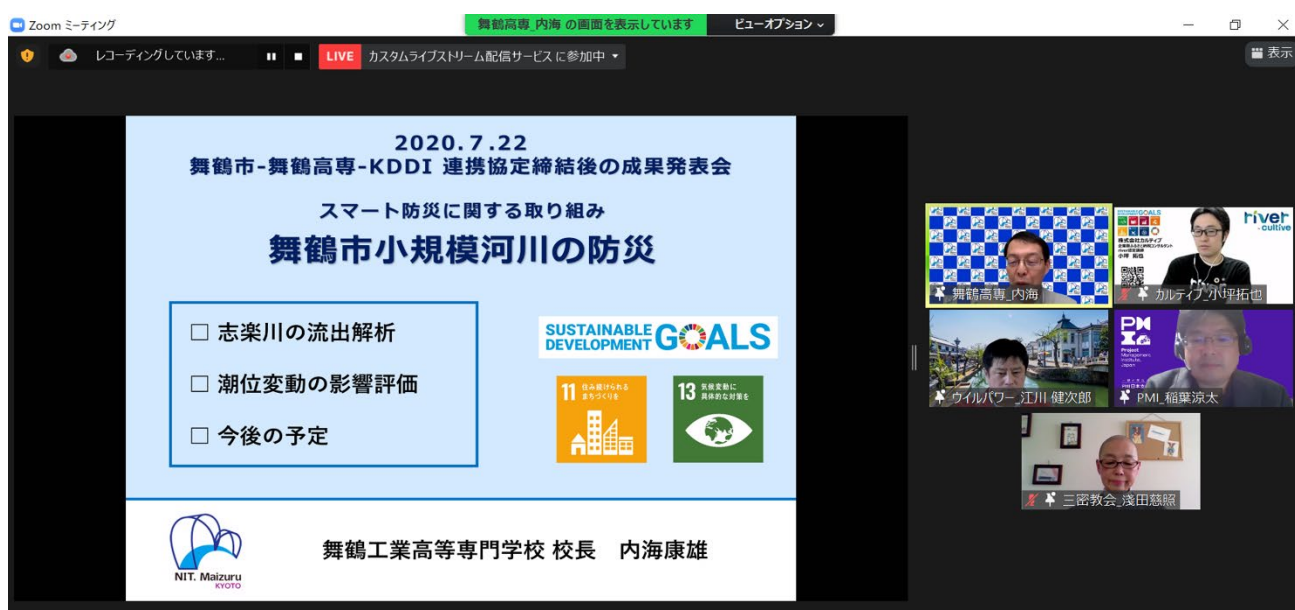


図 6 舞鶴高専様 自己紹介の様子



図 7 カルティブ様 自己紹介の様子

パネルディスカッションは初めての試みでしたが、各お題に対して、参加各団体ともテンポよく、時にはユーモアを交えながらご発言いただき、終始皆さん笑顔で談笑されるなど、視聴者にとってもワクワクする時間だったのではないかと思います。同時に私たちの提唱する「アジャイルアプローチ」の実践事例を感じとることができ、SDGsスタートアップに関心を持つ視聴者の皆様の行動を後押しできたのではないかと考えています。



図 8 パネルディスカッション 配信画像

本セミナーの事後の参加者アンケートでも、イベント参加者満足度が95.9%と高い結果が出ております。本セミナーが多くのSDGs事業担当者や今SDGs事業を行う予定の参加者の効果的なSDGs事業推進の一助になれば非常に幸いです。

3. 今後の活動予定

2021年度（内閣府に併せて4～3月）の活動は本セミナーで全て終了となりました。当研究分科会は、2022年度も継続して活動を実施していきます。今のところ、2021年度同様に、PMI日本支部会員外にも門戸を広げての「ベーシックコース」、「アドバンスコース」の開催や、「2022年度版SDGsスタートアップセミナー」の開催を予定しています。詳細については、PMI日本支部公式サイトにてご案内しますので、しばしお待ちください。

<https://www.pmi-japan.org/>

PMI日本支部SDGsスタートアップ研究分科会では適宜情報発信を行っています。詳しくはPMI日本支部SDGsトピックコーナーをご参照下さい。

<https://www.pmi-japan.org/topics/sdgs/>

問い合わせ先：PMI 日本支部 SDGs スタートアップ研究分科会担当 (sdgs@pmi-japan.net)